

停電が発生しても、太陽光と蓄電池から電力の供給が可能です

接続した電気製品へ、優先的に自動で電力供給する
特定コンセントを設置しています

最大
2,000W

特定コンセントとは 停電時に特別な操作を必要とせず、自動で蓄電池から電力が供給されるコンセント

停電時に使用する電気製品の設定例（12kWhの場合）



冷蔵庫 扇風機 テレビ^{※1} 携帯充電 ノートPC LED照明

満充電の場合、停電時に携帯充電、
冷蔵庫、テレビ、LED照明、ノートPCなど、
必要最低限の電気製品を最大23時間^{※2}
動かすことができます

※1: ケーブルテレビ・光回線テレビや、地上デジタルチューナーをご利用の場合は、それぞれ情報分電盤・チューナーの電源確保が必要となります。
※2: 特定コンセントに約430Wの家電製品を接続した場合の目安です。実際のご使用では、蓄電池の充電量、その他の条件で変わります。

尚、低温環境下および蓄電池の使用期間による劣化により使用できる電力量は低下します。

お客さまが設定されている特定コンセントはコチラ

特定コンセントが使用できない場合は
蓄電池分電盤のブレーカの向きをご確認ください

「系統」側になっている場合は、
「蓄電」側に切り替えてください
復電後は元の状態へお戻しください



最大
1,500W

さらに! 太陽光で発電している間はパワーコンディショナに付属する
停電用コンセントも使用できます

自立運転機能

パワーコンディショナ本体側面のコンセント
(またはあらかじめ屋内に設定した停電用コンセント)から
電気製品を使用することが可能です



動画で自立運転機能の使用方法を
ご覧いただけます
<https://www.youtube.com/watch?v=4p77eAb0YA&app>

●自立運転の際、生命に関わる機器は絶対に接続しないでください。●最大出力は1,500Wですが、ポンプやモーター等、起動時に大きな電力を必要とするものには使用できない場合があります。●自立運転は切り替え操作が必要です。停電時に自動的に切り替わるものではありません。●停電中に蓄電池へ充電を行なっている場合、パワーコンディショナの停電用コンセントで使用できる電力は減少します。●機器やお客さまの手などが濡れた状態でスイッチを入れると、感電や機器故障の原因となる場合がありますのでご注意ください。●日射量や設置システムによって使用できる量が異なり、途中で電源が切れる可能性があるため、機器の故障につながる場合があります。

●掲載写真は、印刷インキ・撮影状況により、実際の色とは異なって見えることがあります。●製品設定、仕様等は予告なく変更する場合があります。●一部品切れになる場合もありますので、販売窓口にお確かめの上、お選びください。●日本国内仕様のため、日本国外では使用できません。

京セラ株式会社 ソーラーエネルギー事業本部

京都市伏見区竹田鳥羽殿町6 〒612-8501

0120-71-9006 (無料)
フリーコール 24時間受付 土曜・日曜・祝日も受け付けております。

<https://www.kyocera.co.jp/solar/>

当リーフレットに記載の情報は2019年3月時点のものです。

当リーフレットについては、無断で複製、転載することを禁じます。 © 2019 KYOCERA Corporation

ZCHC003 ZCH/52C1903DATA8001CS

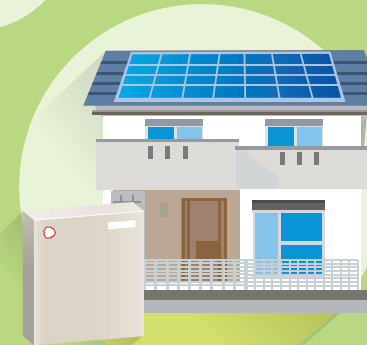
THE NEW VALUE FRONTIER



京セラ製蓄電池 EGS-LM1201をご使用のお客様へ

停電の「前」と「後」

蓄電池フル活用マニュアル



必ずお読みください

このマニュアルは万一の停電時に備え、蓄電池を
十分にご活用いただくための手順書です。
蓄電池リモコンのお近くに置いてご利用ください。

停電に備えて あらかじめ蓄電池を満タンに

台風予報などで、対策可能な際には
前もって電気を蓄えておくことで停電に備えます

停電前

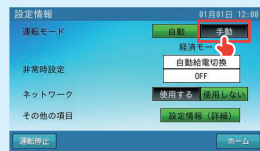


蓄電池リモコン

1 「設定」をタッチします



2 「手動」をタッチします



3 「充電」→「確定」とタッチすると、
画面が切り替わりますので、
続けて「はい」、「ホーム」を
タッチします



4 充電運転中に切り替わります



残量ゼロから満充電まで約5時間かかります*

*低温暖環境下など使用環境により時間がかかる場合があります。

充電が完了すると待機状態になります

停電のおそれがない場合(停電しなかった場合)、
「設定」にて通常の運転モードへお戻しください。



パワーコンディショナ/分電盤
▶ お客さまの操作は不要です

太陽光で発電した電気を 蓄電池へ送る設定へ変更

停電中は蓄電池の電気を使い切ってしまうように、
太陽光で発電した電気を蓄電池に蓄えることができます

停電時



蓄電池リモコン ▶ お客さまの操作は不要です

停電が発生すると自動的に
「停電時運転中」に画面が
切り替わります



パワーコンディショナ/分電盤

1 パワーコンディショナ
運転スイッチをオフにして
電源を切ります



2 太陽光発電用分電盤
ブレーカをオフにします



3 パワーコンディショナ
運転スイッチをオンにして
電源を入れます



発電した電気を蓄電池に蓄える設定が完了すると同時に、停電用コンセント
からも電気製品の使用が可能となります。また、停電が発生した際に自動的に
蓄電池から電気が供給される特定コンセントも設置されています。

蓄電池の特定コンセントが使用できない場合は
蓄電池分電盤のブレーカの向きが蓄電側になっているかどうかをご確認ください。

詳しくは
裏面にて

●写真のパワーコンディショナはPVN-405HM(京セラ製屋内用)となります。●ブレーカの写真はイメージです。太陽光発電用ブレーカの位置が不明の場合はご購入された販売店様にお問い合わせください。

再び売電/自家消費できるよう、 もとの設定に戻します

停電時の操作により、電力会社との連系が一旦切れるため、
復電後に通常の連系運転へ再接続します

停電後 (復電)



パワーコンディショナ/分電盤

1 パワーコンディショナ
運転スイッチをオフにして
電源を切ります



2 太陽光発電用分電盤
ブレーカをオンにします



3 パワーコンディショナ
運転スイッチをオンにして
電源を入れます ※



蓄電池リモコン ▶ お客さまの操作は不要です



操作が完了すると
自動的に設定していた
運転モードになります



復電した場合には上記の操作を行い、連系運転にお戻しください

戻さないで売電が行われません!